

教科（科目）	情報科学	学年（系）	3年
使用教科書	新しい技術・家庭 技術分野（東京書籍） これからの数学3（数研出版）		
副教材等			

1 学習目標

情報及び情報技術を活用するための知識と技能を習得させ、情報に関する科学的な見方や考え方を養うとともに、社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解させ、社会の情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を育てる。

2 指導の重点

情報技術の面から情報社会を考えさせたり、情報社会を進展させるために社会のニーズに対応した情報技術の開発や改善が必要であることを考えさせたりするなどして、情報社会を支える情報技術の役割や影響を理解させ、情報と情報技術に関する基礎的な知識と技能の習得を通して問題の発見と解決に効果的に活用するための科学的な考え方を習得させる。

3 指導計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	備考
4	レポート作成と引用		レポート作成と引用について学習します。論文の盗用や論文の公開について、その問題点を考えます。電子メールの引用や、引用のルールについて学び、情報の正しい使用方法を考えます。	2	レポート、引用について知る。
5	画像や文章の複製		画像や文章の複製について学習します。学校の授業における著作権、著作権保護とデジタルすかしについて学習します。デジタル万引きやケータイの待ち受け画面に使用する画像など、画像の正しい利用方法を考えます。	3	著作権、キャラクターについて知る。
6	音楽や映画の複製		音楽や映画の複製について学習します。著作権法の作られた理由や、デジタル著作物の保護について考えます。著作権法の改正に伴う著作権の正しい利用方法や、著作権者の利益について学びます。	3	著作権者の権利について知る。
7	音楽著作権		音楽著作権について学習します。音楽著作物の保護や音楽のダウンロード販売について学びます。ケータイで音楽を聴く方法や、音楽に関する著作権料についても学習します。	3	音楽著作権について知る。
9	契約内容は適切に		契約内容の適切な運用について学習します。ソフトウェアの使用許諾契約やインターネットによる認証について学びます。ケータイの料金プランやアプリの適切な運用方法を考えます。	3	パケット、パケットフリーについて知る。
10	パスワードを守る		パスワードについて学習します。ソーシャルクラッキングやパスワード、パスワードクラッキングについて学びます。キーロガーの被害や、新しい認証方法についても学習します。	3	ユーザID、パスワードについて知る。
11	データの持ち出し		データの持ち出しについて学習します。USBメモリの情報セキュリティやハードディスク上のファイルの存在について考えます。ケー	3	USBメモリ、個人情報保

			タイのデータの盲点やデータの消去方法についても学びます。		護について知る。
12	コンピュータウイルス		コンピュータウイルスについて学習します。コンピュータウイルス対策やファイルの偽装の現状を考えます。ファイルの拡張子の表示やアイコンの偽装チェック、ケータイのウイルスなどについても学びます。	3	コンピュータウイルス、マクロ感染型ウイルスについて知る。
1	スパイウェア		スパイウェアについて学習します。キーロガーの歴史やスパイウェアの進入について学びます。スパイウェアとコンピュータウイルスの違いや、クッキーについて知り、適切な対処方法を考えます。	3	スパイウェア、偽装アンチスパイウェアについて知る。
2	ファイル共有ソフト		ファイル共有ソフトについて学習します。データを共有する意味やファイル共有ソフトの仕組みを知るとともに、その利用方法について考えます。情報が外部に流出する経路を知ることによってその流出を食い止める方法を考えます。	2	ファイル共有ソフト、Peer toPeerについて知る。
3	暗号化		暗号化について学習します。暗号化と復号、公開鍵暗号についてその仕組みを学びます。ケータイでの暗号化やSSL通信などの手段を知ることにより安全な通信方法を学習します。	2	無線LAN、POSシステムについて知る。

計 30 時間(48分授業)

4 課題・提出物等

・授業の内容について記したレポートやノートを定期的に提出、学習状況の点検をします。

5 評価方法

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度	評価基準
情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身につけ、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身につけ、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報や情報社会に関心を持ち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとしている。	<評定> 各観点の合計点達成率 A…75%以上 B…50%以上 C…50%未満
以上の観点を踏まえ、授業への取り組み（授業態度、学習活動への参加状況）、課題への取り組みなどから総合的に評価します。			

6 担当者からの一言

日常生活で起こることを学んでいきます。その立場になったらどうなるか考えて取り組んでいこう。